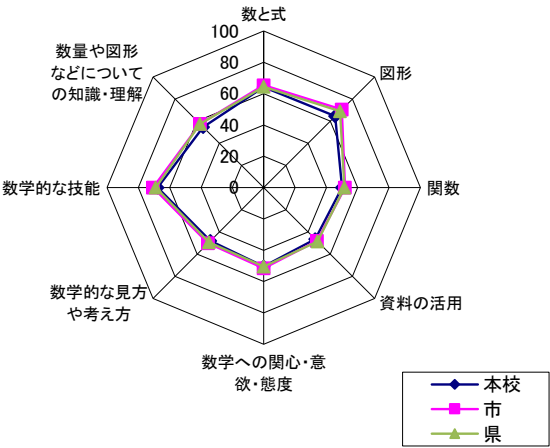


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|-------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | 数と式 | 64.2 | 65.4 | 64.4 |
| | 図形 | 64.5 | 70.5 | 69.0 |
| | 関数 | 50.0 | 51.9 | 51.5 |
| | 資料の活用 | 46.6 | 48.1 | 48.6 |
| 観点 | 数学への関心・意欲・態度 | 50.3 | 51.5 | 50.4 |
| | 数学的な見方・考え方 | 48.0 | 50.2 | 49.4 |
| | 数学的な技能 | 67.7 | 70.6 | 68.9 |
| | 数量や図形などについての知識・理解 | 54.6 | 57.5 | 57.4 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------|---|---|
| 数と式 | 平均正答率は市の平均を1.2ポイント、県の平均を0.2ポイント下回っている。 ○文字式を使って、数量を表すことはよくできている。 ●数量の間の関係を不等式で表す問題に、課題が見られる。 | ・数量の間の関係を等式や不等式で表すことを苦手と感じている生徒は多い。文字を具体的な数に置きかえて、どんな式で表すことができるかを確認してから、文字を使うなど丁寧に指導していく。 |
| 図形 | 平均正答率は市の平均を6.0ポイント、県の平均を4.5ポイント下回っている。 ○平面図形と回転体との関係について、よく理解している。 ●底面積と高さが等しい錐体と柱体の体積の関係について、課題が見られる。 | ・体積の公式をただ暗記させるのではなく、実際に立体を使っての実験などを取り入れることで、錐体と柱体の体積の関係について理解を深めることができるように指導していく。 |
| 関数 | 平均正答率は市の平均を1.9ポイント、県の平均を1.5ポイント下回っている。 ○比例・反比例で、 x の値が変化するとき、 y の値がどのように変化するかを理解している。 ●関数を表す問題に課題が見られる。 | ・「 y は x の関数である」という言葉について、具体的な事象を示しながら、その意味を理解できるように指導していく。 |
| 資料の活用 | 平均正答率は市の平均を1.5ポイント、県の平均を2.0ポイント下回っている。 ○資料の読み取り方が適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴から説明する問題はよくできている。 ●度数分布表から累積度数を求める問題に課題が見られる。 | ・様々な問題を通して、相対度数や累積度数などの基礎的な用語の意味だけでなく、その求め方や使い方についての理解を深めることができるように指導していく。 |
| | | |